
平成30年度

議会報告会報告書

特設会場

平成31年3月
庄原市議会

平成30年度 庄原市議会報告会報告書(特設会場) 目次

1. 開催の目的	1
2. 開催高校、開催日時及び参加者数	1
3. 議会報告会（報告事項）次第	1
4. 班編成	2
5. 報告事項に対する質疑応答 意見交換内容	3 ~ 15
6. 議会報告会の実施結果	16

1. 開催の目的

市民が議会の活動に参加できるような懇談会、議会報告会等を開催するよう努めるため。
(庄原市議会基本条例第5条第3項)

2. 開催高校、開催日時及び参加者数 平成30年度

	実施校名	開催日	時間	会場	参加者数	担当班
特設 会場	東城高校	7月12日(木)	15:35~16:25	東城高校 視聴覚室	33	1
	西城紫水高校	7月18日(水)	14:20~15:10	西城紫水高校 音楽室	42	2
	庄原格致高校	1月15日(火)	15:25~16:15	格致高校 特別教室 3室	108	1
	庄原実業高校	1月30日(水)	11:50~12:40	実業高校 3年生 4クラス	110	2
特設会場					293	

過去の議会報告会特設会場実績

実施年度	期間	開催時間	会場数	参加者数	班数
平成28年度	7月11日~21日	-	3	415	3班
庄原格致高校	7月15日	10:00~11:00	-	301	-
西城紫水高校	7月15日	15:20~16:15	-	48	-
東城高校	7月21日	15:35~16:25	-	66	-
平成29年度	7月3日~8月29日	-	3	426	3班
庄原実業高校	8月29日	15:25~16:10	-	359	-
西城紫水高校	7月10日	14:20~15:10	-	36	-
東城高校	7月18日	15:35~16:25	-	31	-

3. 議会報告会(報告事項)次第

<p>【特設会場】</p> <p>(1) 開会行事 あいさつ 議員自己紹介</p> <p>(2) 意見交換 ・テーマ別意見交換 ・報告~質疑、意見交換</p> <p>(3) 閉会行事 講評 生徒代表あいさつ</p> <p>※ 時間配分 50分(授業時間)</p>

4. 班編成

【 特設会場 】

(◎印 代表者)

会 場	班	参 加 議 員
東城高校 3年生 (視聴覚教室 1室)	1	◎岡村信吉 ・ 竹内光義 ・ 門脇俊照 ・ 近藤久子 林 高正 ・ 福山権二 ・ 吉方明美 ・ 田部道男 岩山泰憲 ・ 山田聖三
西城紫水高校 2・3年生 (音楽教室 1室)	2	赤木忠徳 ・ 宇江田豊彦 ・ 坂本義明 ・ 堀井秀昭 近藤久子 ・ ◎政野 太 ・ 五島 誠
庄原格致高校 2年生 (特別教室 3室)	1	◎岡村信吉 ・ 竹内光義 ・ 門脇俊照 ・ 谷口隆明 林 高正 ・ 福山権二 ・ 吉方明美 ・ 田部道男 岩山泰憲 ・ 山田聖三
庄原実業高校 3年生 (各教室 4室)	2	赤木忠徳 ・ 横路政之 ・ 宇江田豊彦 ・ 坂本義明 ・ 徳永泰臣 ・ 近藤久子 ・ ◎政野 太 ・ 五島 誠 桂藤和夫

※ 次のページからは、各班から提出された報告書を基に作成しています。

5. 報告事項に対する質疑応答・意見交換内容

【 東城高校 】

■テーマ1. 高校時代の過ごし方で大切なこと。

【生徒】

- ・目標を持った生活が重要。
- ・勉学に励む。
- ・福祉ボランティアに参加して地域貢献する。

【生徒】

- ・外国語（英語）もっと力を入れるべきだった。
- ・部活（サッカー）に力を入れたかった。
- ・もっと楽しく（思い出になるよう）すごしたい。
- ・進学は、早く調べて決めた方がいい。
- ・やりたいことを何でもやっておきたかった。
- ・特待生で進学できるよう頑張ればよかった。

【議員】

- ・まだまだ若いから、色々挑戦出来る、頑張してほしい。

【生徒】

- ・将来に向け英語に力を入れたい
- ・クラブ活動や地域の行事などに参加し、楽しめたらよかった。（あと1年間頑張る）
- ・もっとやりたいことをやっておけばよかった。（勉強も含めて）
- ・進路について、早く調べておけばよかった。

【議員】

- ・進路を問うと、進学（大学・専門学校）が大半であるが、地元東城の会社に就職して頑張るとい
う生徒もおり、力強く感じた。

【議員】

- ・最初に自己紹介をして、この夏休みに何をするかを話してもらおう。

【生徒】

- ・進学する人は、受験に向けて勉強すること。
- ・就職する人は、遊びたい。
- ・高校時代を振り返ってみて、もう少し勉強しておけばよかった。

【議員】

- ・女子生徒3名は将来像（職業）を具体的に描いているが、もっと勉強しなければ夢で終わる危険性も含んでいると自己分析していた。しかし、今は何にでもチャレンジしてみたい気持ちが強く、未だにその気にならないという感じを受けたので、「勉強すれば可能性は広がる」とハッパをかける。男子生徒は4名でしたが、高校時代の過ごし方で大切なことはと問いかけると、「楽しむ」、「遊びが大切」とか、「考えたことがない」みたいな返答でしたが、話すことが苦手だったみたいです。そこで、高校生だった時代の思い出話を少し生徒たちにしました。「昭和47年の水害時に今でいうボランティア活動を通して同級生が非常に仲良しになり、今でも声を掛ければ直ぐに同級生が集まります。」という程度の内容だったのですが、丁度、東城市内も豪雨災害で大変な時だけに何かを感じてくれたのではと思います。

■テーマ2. 庄原市の魅力は何か。

【生徒】

- ・自然の美しさ
- ・地域社会の共同共助の気持ちが溢れている。

【生徒】

- ・自然が多いところが良い。
- ・災害（地震等）が少ない。
- ・備北丘陵公園のイベント。水がきれい。
- ・帝釈峡、雄橋がいい。治安・人情がいい。
- ・バス便を増やして欲しい。一便遅れると3時間待ちとなる。（八幡 ⇄ 東城高校）
- ・小さな子どもと集まって遊べる所が欲しい。
- ・東城出身の映画監督の作品が上映できる、映画館・ショッピングモールが有ればよい。
- ・空き家が景観を損ねている。

【議員】

- ・庄原の自然を生かした地域づくりが進む市政を進めなければいけない。
- ・地域の交通を色々組み合わせて、便利になるよう、検討を進める。
- ・空き家は個人の資産で、所有権の問題もあり、勝手に取り壊せないなど、課題である。

【生徒】

- ・自然が豊か。住みやすい。人が優しい。文化財が多い。イベントも多い。
- ・悪いところは、娯楽施設がない。ファミレスがない。映画館がほしい。

【議員】

- ・東城高校の生徒たちが制作に携わった「魅力発見！庄原のベストスポット」という観光パンフレットが出来上がるまでのお話を聞かせていただいたのですが、庄原の旧1市6町の住民に観光スポットのアンケートをお願いし、人気が高かったスポットを集めて周遊できるコースを考えたら、東城エリアの歴史編コースと西城エリアのレジャー編コースができたそうです。そして、備北丘陵公園を核とした庄原エリアと国定公園帝釈峡を核とした帝釈エリアを加えると、4エリアで観光コースが出来上がり、更にグルメ庄原エリアマップも付いていますので、庄原の魅力満載のパンフレットが出来上がったのだそうです。確かに良く勉強していることが分かる力作だと思います。今回は日本人向けのパンフレットを作ったけど、次回は外国人向けのパンフレットを作りたいと言っていましたので期待しましょう。纏めとして、庄原市全体を考えた場合、面積の84%を占める森林を観光に活用する道を探ってみてはどうかということを話し合いましたが、残念ながら、アイデアは出ませんでした。折角、第一弾が日の目を見た訳ですから、これからも庄原の魅力を再発見し、磨いて行って欲しいものです。

■テーマ3. 庄原市を活性化させるためには、どうするべきか。

【生徒】

- ・庄原市の各種資源を積極的に知らせる。ネット活用等。
- ・若い市民が働くことができる職場を創る。誘致する。

【生徒】

- ・出身者が帰って来たいと思えるまちづくりが大切。
- ・出産祝い金等を増やしたり、ふるさと納税制度を活用した、まちづくりをもっと進めるとよい。
- ・進路、就職をする何を優先するのか。①労働条件（休暇制度、勤務時間）②職種という順序。
- ・給料や休暇など労働条件の良い職場があればよい。職種より労働条件を優先。
- ・大学進学、専門学校（美容師）、レントゲン技師と志望がある中で、地元で働きたいという生徒もあり。

【議員】

- ・若い人が、庄原市へ帰って欲しい。
- ・パブリックサービス（公務員・病院・福祉サービスなど）での地元での仕事は、多数ある。色々学んで帰って就職してほしい。
- ・庄原市議会議員を将来目指す人はいるかと問うたが、希望は0人だった。ただし投票に関しては、責任感があると感じた。
- ・全体的に時間が少なかった。十分意見を聞くことが出来なかった。

【議員】

- ・まず、都会に出たいかと聞く

【生徒】

- ・一度は出てみたい。行きたい専門学校が都会にしかない。

【議員】

- ・東城に帰って来るかと聞く

【生徒】

- ・帰ってきたい。結婚や就職でどうなるかわからない。

【議員】

- ・活性化について聞く

【生徒】

- ・人がどんどん増えることだけがいいとは思わないが、今の東城の良さを残して、良さを分かってくれる観光客を増やすようにすればいい。
- ・魅力のある町にする。
- ・イベントを増やす。
- ・子どもの遊び場を増やす。

【議員】

- ・テーマ2で話し合った観光の延長線上でテーマ3に突入しました。外国の人に庄原市の観光スポットをどうやったら知らせることができるかと考えたら、「やはり、SNSでしょう」ということになりました。「インスタグラムやフェイスブック、ツイッターなどでの情報発信が有効では」という意見に対し、「こちらの一方的な情報発信ではなく相手の国の人たちが興味を持っている

ことに関する情報発信でないと見てくれないのでは」という意見も出され、結構盛り上がりました。東城高校は台湾の高校と交流しているのだから、それこそ SNS を活用して台湾の人たちの興味と合致する東城の観光情報を台湾国内に拡散して貰えばインバウンドに貢献できるのではという提案を、議員サイドからさせていただきました。

話題を変え、20年後の東城はどうなっているだろうかとの問いかけに対し、空き家（廃屋）が増えているだろうとか、買い物ができるお店が少なくなっているのではとか、周辺部に住む人がいなくなっているのではという意見が出されました。恐らく、実感というよりも報道による知識が相当に入っているのではないのでしょうか。

高校生が住民から必要とされていると実感できる活動を作り出すことで、高校生も地域住民も、ひいては東城地域が活性化するのではないかと生徒たちと意見交換しながら感じました。つまり、お互いに必要とされる存在となることが大切だと思います。

【 西城紫水高校 】

■地域のあるもの探し ※ 地域の強みに気づく

【生徒】

- ・のどか。人から野菜もらえる。
- ・田んぼ（少しマイナスイメージ。虫が多い）
- ・山がたくさん。空気がきれい。
- ・人にやさしい緑がたくさん。
- ・国営備北丘陵公園。
- ・比婆山、吾妻山。
- ・自然が豊か。川がきれい。
- ・田舎なので人と深く関わる事が出来る。
- ・自然がいっぱい。
- ・あいさつをしてくれる。
- ・動物が沢山いる。（魚、虫）
- ・クロカンパーク。
- ・西城町内に3つスキー場。（県民の森、猫山、道後山）
- ・セブンイレブン、ファミリーマート、ウイル、家がある。
- ・庄原市の町中がにぎやかでもあり、おだやかでもある。
- ・地域の人がやさしい。
- ・雪、紅葉、川魚
- ・自然がいっぱい。大きな公園。みんな明るい。
- ・大きな祭があること。
- ・総合体育館というきちんとした施設があること。
- ・高野のリンゴがおいしい。
- ・ヒバゴン。
- ・ゴギ。
- ・上野公園の桜がきれい。
- ・尾関山の桜。
- ・庄原焼き。
- ・高谷山の霧の海。
- ・風土記の丘。
- ・もぐら博物館。くじら博物館。
- ・比婆牛がおいしい。
- ・たたら製鉄の場所。

■交流人口を増やすには 【地域の強みを人口増加に結びつける方策を、他の人々との協議を通じて具体的に考える。】

- ・自然を生かしたアトラクション。スキー大会。施設と宣伝が大切。
- ・西城にあるものをHPなどでアピールする。比婆牛、山のアピール。
- ・自然と伝統文化を活用。例えば神楽。山の中にステージを作る。より神秘的に。
- ・携帯電話の圏外をなくす。
- ・地産物を使って料理教室。料理体験。
- ・西城町に道の駅、拠点をつくる。コンビニにも物産品を置く。
- ・刀を知ってもらう。
- ・ショッピングモールなど大きい店を出す。米を売る。
- ・吾妻山、比婆山が有名なので登山。
- ・遊べる場所、遊具を作る。
- ・国営備北丘陵公園の活用。
- ・観光の場がほしい。娯楽施設を増やす。
- ・特産物を使う。伝統芸能を発信する。
- ・自然をいかした施設を作ればいい。
- ・イベントを増やす。
- ・西城のおいしい食べ物を食べる事が出来るお店をつくる。
- ・SNSなどで活用できる写真スポットを作る。携帯電話などを通してたくさんの人に伝える工夫。
- ・地産物を増やす。
- ・キャンプなど庄原市に泊まる企画を増やす。
- ・ヒバゴンの家族をつくる。(ゆるキャラ)恋愛や結婚、子育てといったストーリーを加え、それを市のPRに活用する。
- ・ゆるキャラのヒバゴンとリアルなヒバゴン両方作る。
- ・外国人向けのホームステイ。
- ・動物園を作る。公園のような憩いの場をつくる。
- ・インスタ映えしそうな物をつくる。
- ・雪合戦の大会で氷のアート。
- ・町の雰囲気やYouTuberに出す。
- ・交通機関を増やす。(バスや汽車の本数を増やす。)
- ・ヒバゴンのかわいいキャラクターキーホルダーを作る。
- ・山が多いので山の探索などの企画をする。

【議員】

- ・「地域のあるもの探し」、「交流人口を増やすには」という2つのテーマに対して、グループに分かれての懇談で、ほぼ全員の生徒が意見を出し合う事が出来ました。短時間ではありましたが、高校生の視点から庄原市、あるいは県北地域の課題解決に関する考えを深く議論することが出来ました。西城紫水高校では、「西城地域貢献活動講座」を通じて、地域との関係を築く取り組みをされている事により、自然や観光資源などの庄原市の良い点も、地域の諸課題も理解されており、今回の高校生の発案から実現出来ることもあると感じました。

【 庄原格致高校 】

【生徒】

- ・自分は口和町に住んでいる。人口減少の傾向にあるが、その中で公共交通であるバス運行日について、現在休日にバスが運行されていない。利用したい人がいても運行しないのか。
- ・休日もバスを運行してほしい。
- ・庄原へ帰ってきたいけど、仕事が少ない。どうにかならないか。

【生徒】

- ・庄原市へ国の補助金等が減ってくると、市民への影響はどのようなのか。

【議員】

極端に市民への影響が出ないように、色々な財政支援が受けられるよう努力している。

【生徒】

- ・議員は、どのような考えの人が良いと思うか。

【議員】

- ・議員は自分のまちづくりの考えが一番と思って選挙する。
- ・若い考えの人が良い、高齢化社会では高齢の人の代弁者も必要との考えもあると思う。

【生徒】

- ・パンダの話はどのようなのか。

【議員】

- ・庄原市の活性化にパンダ誘致を検討する予算が、昨年の3月議会に提出された。議会はパンダを検討する予算は認めないと減額修正して予算を決めた。

【生徒】

- ・庄原市の人口を増やすための取り組みは、どうするのか。

【議員】

- ・庄原赤十字病院の産科再開が重要な施策として取り組み、実現している。合わせて小児科の誘致も行った。現在も子育て・教育の対策を総合的に進めている。
- ・仕事を増やすことも大切で、農業・林業にも力を入れている。

【生徒】

- ・庄原市に大学や専門学校をもっと増やすことを考えてはどうか。

【議員】

- ・県大・庄原キャンパスも生徒定員減の状況で、この地域に根差した分野へ力を入れた運営がされるよう働きかけている。また市内の高校を魅力あるものにしたい。

【生徒】

- ・今日は庄原市議会のことを、YouTube で知ることができたり、色々市政のことを聞けて良かった。18歳になり選挙に行くようになるので、庄原の事をもっと知り関わっていきたい。

【生徒】

- ・パンダは来ないのですか。
- ・庄原駅を整備しているが、人が来ないし駅の近くに何かあるわけでもないのに意味があるのか。

- ・ ゴミ焼却施設や斎場の整備に金がかかりすぎるのではないか。
- ・ 庄原市にしかない観光資源があれば、教えてください。
- ・ 庄原市の人口を増やすために、行っていることは何か。

【議員】

- ・ 何があれば、庄原に帰ってくるか。

【生徒】

- ・ 小学校があれば帰ってくる。

【議員】

- ・ 生徒の皆さんは、現在地域で進めている市行政について、いろいろなことを、素直に考えていただいていることに対して、大変ありがたく思った。

【 庄原実業高校 】

生物生産学科 3年Aクラス

【生徒】

- ・ 選挙制度の市外転出について。

【議員】

- ・ 12月29日に住んでいた住民票のある地域で、選挙が出来る。

【生徒】

- ・ 若者が一杯集まる、楽しく遊べるテーマパークが欲しい。

【議員】

- ・ 6次産業化

【生徒】

- ・ 街灯が少ない。川手地区は夜帰る時、怖い。
- ・ 新庄町ゆめさくらの周りが暗い。
- ・ JRやバスの便が少ない。
- ・ 芸備線で通学7名、バス通学6名、3時の便の後6時になるので5時台の便が欲しい。
- ・ 試験中、昼間のバスが少ない。
- ・ 三次庄原間の朝バスが少ない。
- ・ 店が少ない。

【議員】

- ・ 学生専用のバスの検討。

【議員】

- ・ 庄原市の農業生産額の問いに5億の回答があったが、実際は197億円。
- ・ 農商工連携で、農業と観光が連携20億円を生む。農業とコラボすれば100億円を超える産業が生まれる。
- ・ 進路を確認すると庄原に残る人は6名。
- ・ アンケートから一番関心があったのは、観光15名、2番目に産業7名、福祉5名、教育が5名。

【議員】

- ・「選挙に行きましょう」と問う

【生徒】

- ・市民として当然。
- ・面倒くさい。
- ・就職、進学で選挙どころではない。
- ・場所がわからない。

【議員】

- ・選挙に行く理由の説明をする。

【生徒】

- ・よくわからない。

【生徒】

- ・JRの本数が少ない。
- ・店が少ない。ネットだより。
- ・帰宅するのにJRの本数が少ない。
- ・終電が8時で終わってしまう。
- ・溜まり場が無い。マックがあったらいい。
- ・カラオケが無い。
- ・ジョイフルで集まっていたら苦情がくる。
- ・「ふらり」は、知らない。
- ・住みたいと思えるような地域にしなとダメ。
- ・住みやすいけど、住みたいとは思わない。
- ・住んでみて困ることはないけど、住もうとは思わない。

【先生】

- ・比婆牛丼を作ろうとレシピを作ったが頓挫した。
- ・イノシシの解体場が出来たようだが、そこと連携して、イノシシハンバーグを作るなど、高校生が考えたことを形にしてほしい。
- ・ネットに繋ぐのに2ヶ月以上かかる。

【生徒】

- ・三次市は中学校卒業まで医療費が無料になっているが、庄原市もそうならないのか。

【議員】

- ・これは市の財政的な面によりいろいろあります。高校卒業までや中学校卒業までのところもあります。これは市の方へ持ち帰って検討したいと思います。

【生徒】

- ・上野総合公園や総合体育館を学校行事や部活で使用する際、使用料を取られるが、無料にならないのか。

【議員】

- ・要望は執行部へ伝える。

【生徒】

- ・バス代が高いし、本数が少ないので何とかならないか。

【議員】

- ・公共交通に市も約2億6千万円の補助金を出してやっているが、市民の満足度が低いのでその辺も含めて検討したいと考えている。

【生徒】

- ・パンダの件はどうなったのか。

【議員】

- ・議会としてそれに関する予算を通さず、中止にしました。

【生徒】

- ・産科の再開について

【議会】

- ・これは長年の懸案事項であったが、小児科とセットでないといけないということで、先に旧長岡商事跡に小児科とこども未来広場を作り、昨年5月から庄原日赤病院で再開することが出来た。

【生徒】

- ・このクラスには三次市からの通学者が半数いる。
- ・三次市と同じ高校生まで医療費を500円にして欲しい。気軽に病院に行きたい。

【議員】

- ・この件に関して、これ迄に度々各議員から執行者に対して提言をしている。
- ・予算をどうするのが、これからの課題である。

【生徒】

- ・成人式を夏ではなく冬にして欲しい。理由は、振袖が着たいから。(複数人)

【生徒】

- ・街灯が少なくて困っている。

【議員】

- ・皆さんからの要望として強く受け止める。どこの地域なのか示して欲しい。又、このような要望を実現させる方策(手順)を、みなさんの立場から考えて頂く事も、様々なキーワードが分かって、政治を身近に感じる事に繋がるのでは。

【生徒】

- ・交通網の整備をして欲しい(バス・JRとも増便を希望)

【議員】

- ・通学に関する交通網の整備は重要であるが、増便は難しい状況にある。ただ、実情を訴えていく。

【生徒】

- ・庄原が大好きで地元に残りたいが、職種が限られている。

【議員】

- ・商工会議所が実施した市内の高校生のアンケート調査によると、50%の生徒が地元に残りたいとの結果であった。但し実際に庄原市にどのような職種があるのか分からない生徒さんが多い実態も分かった。これまでのPR不足を認め、今後の対策を考えておられる。生徒からも、賃金を含めて、積極的に情報を集めて頂きたい。

【生徒】

- ・女性議員だから達成できたことは何か。

【議員】

- ・子育ての経験などから、男性とは違う視点も大切にしながら、執行者に対して提言をしているが、大きな課題に関しては、他の議員と共に常任委員会の中で議論を重ね、方向性を導き出す事も重要と考える。ただ、政治の分野では年齢や性別に偏りのない構成がベターであると思う。ちなみに女性議員が全体の2割を超える地域は、東京都と神奈川県のみである。庄原市は1割。

【生徒】

- ・大型のショッピングモールを作って欲しい

【議員】

- ・市場原理の中で、それは不可能に近いと答弁。

【生徒】

- ・介護職に就こうと思っている。現場の状況を知りたい。

【議員】

- ・団塊の世代が 75 歳になる 2025 年問題がある。庄原市においても医療費や介護保険料の増加が懸念されているが、それにも増して人手不足が顕著であり、介護職の人材確保は重要課題である。是非、地元で就職をして頂きたい。

【生徒】

- ・パンダは来るのか。

【議員】

- ・リース料 1 億円の他、飼育に関しての人件費など高額に上るなど、否決された経緯を説明。

【生徒】

- ・パンダが無理なら、備北丘陵公園内に、誰もが可愛いと思える動物の飼育とか、活性化対策を考えて欲しい。
- ・観光客が訪れる施策をもっと考えて欲しい。

6. 実施結果

(1) 開催時期等について

- ・各校とも1時限内（50分間）の開催・公民科の授業として取り組む。

東城高校	7月12日（木）	15:35～16:25
西城紫水高校	7月18日（水）	14:20～15:10
庄原格致高校	1月15日（火）	15:25～16:15
庄原実業高校	1月30日（水）	11:50～12:40

(2) 開催会場の設定数について

- ・4会場（市内4高校） 東城高校、西城紫水高校、庄原格致高校、庄原実業高校

(3) 報告内容等について

- ・東城高校・西城紫水高校
ワールドカフェ方式に準じて、テーマ設定、班ごとに意見交換
- ・庄原格致高校
パワーポイント資料上映、説明、意見交換
- ・庄原実業高校
資料説明、意見交換

生物生産学科 3-Aクラスでは、NHK放送局のテレビ取材あり。
H30.2.28（木）18:10～19:00 お好みワイドひろしま内で放送される。

(4) 班編成について

- ・基本10人班とし、各人2校を担当する。（班編成は、くじ引きによる）

(5) 記録について

- ・班員（記録者）による要点記録

(6) 時間割について

- ・学校側と協議し、1時限（50分間）とする。
- ・意見交換時間を出来るだけ長く取れるように、進行管理を徹底する。

(7) 配布資料・パワーポイントについて

- ・東城高校、西城紫水高校、庄原実業高校
配布資料なし、テーマ事前設定、班ごとに意見交換
- ・庄原格致高校
パワーポイント上映・説明、意見交換（質問事項等 事前学習あり）
- ・庄原実業高校
（パワーポイント用）資料にて説明後、意見交換（パネル設問回答により、事前学習あり）
※時間短縮のため、担当議員名簿を配付した。

(8) 周知方法について

- ・各高校で周知

(9) 報告会全体の運営について

- ・各高校との打合せをもとに開催した。

検証結果

- ・議会方針として、来年度も実施する。
- ・高校との開催日程調整は、スケジュール編成中の早い段階で交渉しておくほうがよい。
- ・高校との開催協議は、3月中に議会運営委員会 委員長と副委員長で対応する。